

「くものいと」(関西クモ研究会機関誌), No.27, pp. 40-43 (2000 年) から一部改変して転載.

クモの同定の手引き

ワシグモ科 Gnaphosidae (その1)

加 村 隆 英

ワシグモ科の特徴

多くのクモ類では出糸突起が円錐状ですが, ワシグモ科では円筒状 (つまり, 先端部の太さが根元とほとんど同じ) です. そして, さらに出糸突起の前対 (腹面から見たときに手前に見える大きな一対) が広く離れています (図 1).

ただし, ワシグモ科のなかでツヤグモ属 *Micaria* だけは例外で, 出糸突起前対が接近しています. また, フクログモ科のフクログモ属 *Chubiona* でも, 出糸突起が円筒状に近い場合がありますが, 出糸突起前対は離れていません.

したがって, 出糸突起の状態を見れば, ツヤグモ属を除いては, ほぼまちがいでなくワシグモ科であることが判かります.

ケムリグモ属とその近縁属

ケムリグモ属にはいくつかの近縁の属があり, それらはケムリグモ属複合群としてまとめられています. そのうち日本に分布するのは, ケムリグモ属 *Zelotes*, タイリクケムリグモ属 *Trachyzelotes*, カバキケムリグモ属 *Urozelotes*, ヨリメケムリグモ属 *Drassyllus* の 4 属です.

このグループの特徴は, 第 3 脚と第 4 脚の跗節先端の腹面に特殊な櫛歯状の毛列があることです (図 2). これはほんとうにきれいに整然と並んだ毛列です. 他のグループで, この場所に毛がたくさん生えているものがありますが, それは密生した毛群で (図 3), 毛列ではありません. この両者を混同しないようにしなければなりません.

これら 4 属は, 下記の検索表によって, おおむね区別することができます. とはいうものの, 標本によっては, よくわからないこともあるかもしれません. (検索表というのは, それさえあればすべてが簡単にわかるように思われがちですが, 現実には, ある程度たくさんの標本にあたって, 「見る目」を養わないと使いこなせないという側面はあるものなのです.)

ともかく, このグループの各種は外見が互いによく似ていますので, 幼体の場合は種を (場合によっては属も) 同定することはあきらめたほうが無難です. 成体であれば, 雌の生殖器や雄の触肢によって, 容易に種の区別ができます.

日本産ケムリグモ属複合群の属の検索

1. 後中眼がやや小さく, 後中眼間はやや広い (後中眼の長径の半分程度) (図 4) ケムリグモ属
- 後中眼が大きく, 後中眼間は狭い (後中眼の長径の半分より小) (図 5); ときには, 後中眼どうしが完全に接する 2
2. 上顎の前面に太短い剛毛が密生する (図 6) タイリクケムリグモ属

- 上顎の前面に剛毛はなく，ふつうの毛が生える・・・・・・・・・・ 3
- 3. 全体に黄褐色・・・・・・・・・・カバキケムリグモ属
- 全体に暗褐色・・・・・・・・・・ヨリメケムリグモ属

ここでは、ケムリグモ属を除く 3 属の各種について、その同定のポイントを説明します。

タイリクケムリグモ属 *Trachyzelotes*

日本産のこの属には 2 種が知られていますが、そのうちの 1 種は八重山諸島産ですので、今回は省略します。残りの 1 種、タイリクケムリグモ *T. jaxartensis* (Kroneberg 1875) は全体に暗褐色で、体長は 6~9 mm. 本州で記録がありますが、採集される機会は多くありません。図 7-9 を参照してください。

カバキケムリグモ属 *Urozelotes*

日本産はカバキケムリグモ *U. rusticus* (L. Koch 1872) の 1 種だけです。体長は 6~10 mm. 他のケムリグモ属複合群の各種は全体に暗赤褐色ないし黒褐色であるのに対して、本種だけは黄褐色ですので、見当は付けやすいと思います。しかし、個体によっては色の濃いものもありますから、色だけで判断することはやはり危険です。屋内や人家周辺で発見されるようですが、出会う機会はまれです。図 10-11 を参照してください。

ヨリメケムリグモ属 *Drassyllus*

日本産は次の 4 種です。

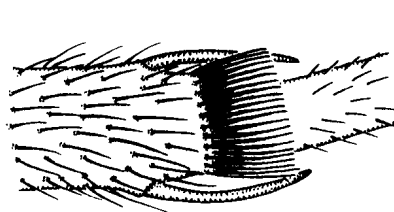
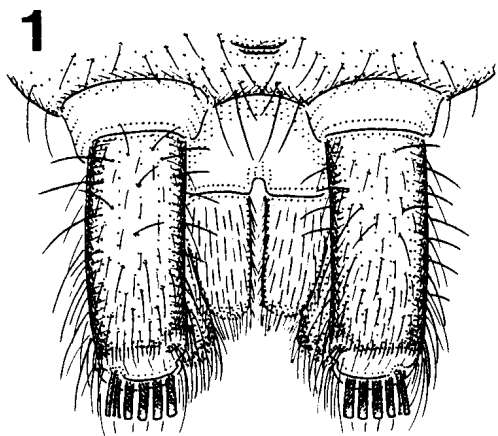
エビチャヨリメケムリグモ *D. sanmenensis* Platnick & Song 1986 (図 12-13)

ヤマヨリメケムリグモ *D. sasakawai* Kamura 1987 (図 14-15)

チクニヨリメケムリグモ *D. shaanxiensis* Platnick & Song 1986 (図 16-17)

ヒメヨリメケムリグモ *D. yaginumai* Kamura 1987 (図 18-19)

体長は 4.5~8.5 mm. いずれの種も全体に暗赤褐色ないし黒褐色で、外見は非常によく似ていますが、雌の生殖器および雄の触肢を見れば、種の同定は容易です。図 12-19 を参照してください。



2

ケムリグモ属複合群

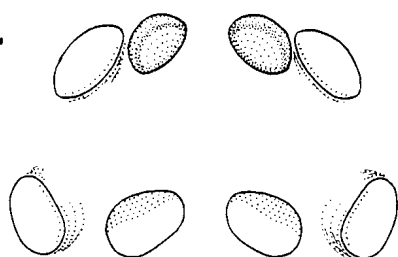
これはケムリグモ属
複合群ではない



3

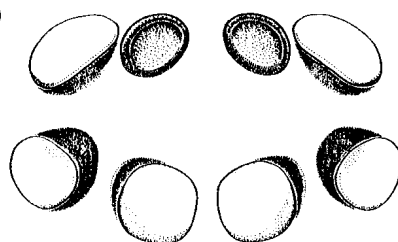
ワシグモ科の出糸突起(腹面)

4



ケムリグモ属

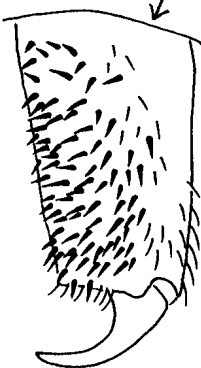
5



ケムリグモ属以外の3属

6

上顎前面に剛毛が生える



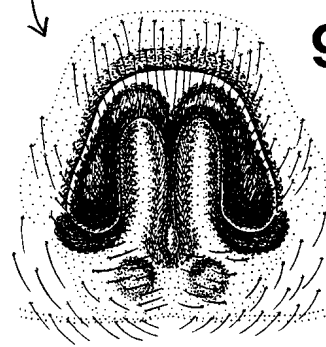
タイリクケムリグモ

丸いこぶ

7



9



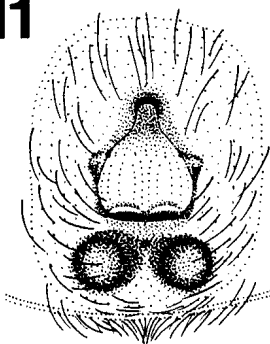
全体にM字状

10



太短い突起

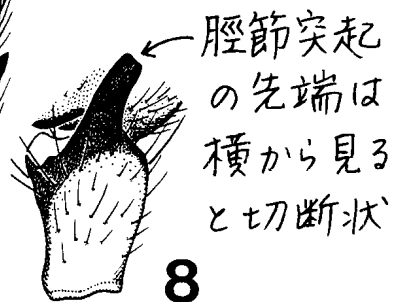
11



中央に○こんな形のプレート

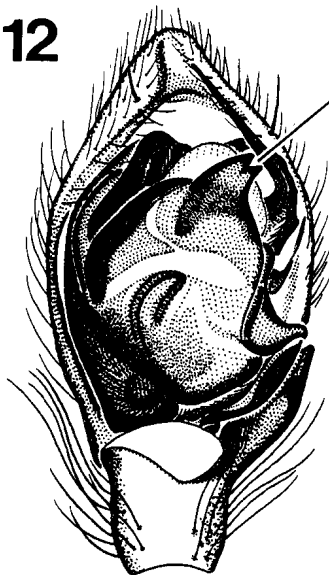
カバキケムリグモ

8



脛節突起
の先端は
横から見ると
切断状

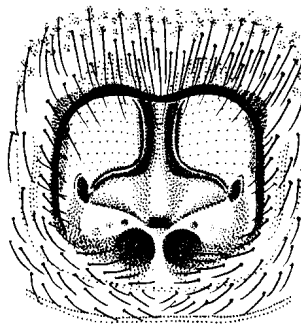
12



先端がV字状
にくぼむ

エビチャヨリメ
ケムリグモ

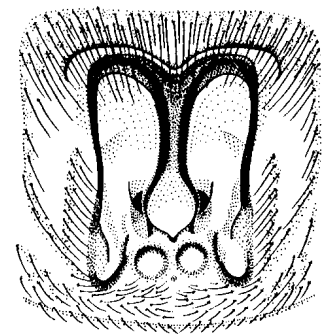
13



全体に四角形
やや横長

全体に四角形
縦長

15



14



小さな突起

ヤマヨリメ
ケムリグモ

下に張り出す

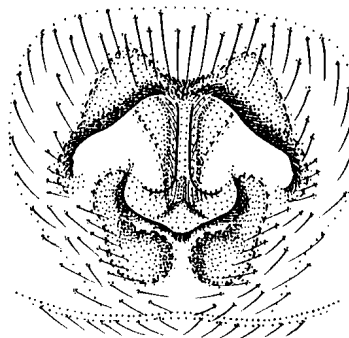
先端は
切断状

16



チクニヨリメ
ケムリグモ

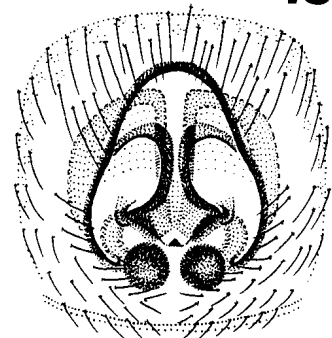
17



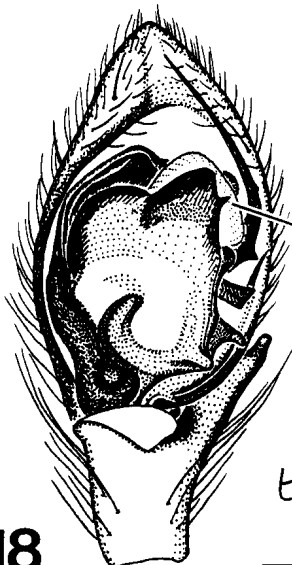
八字状のリッジ

全体に卵形

19



18



小さな突起

ヒメヨリメ
ケムリグモ